

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 09-118382

(43) Date of publication of application : 06. 05. 1997

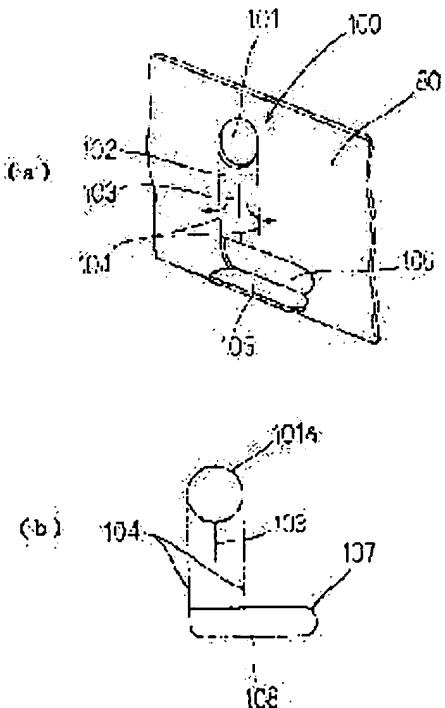
(51) Int. CI. B65D 85/18

A47G 25/54

(21) Application number : 07-300529 (71) Applicant : CROWN PACKAGE:KK

(22) Date of filing : 24. 10. 1995 (72) Inventor : SAKOU MORIZOU
HIRAMATSU TOMOYA

(54) CASE FOR CLOTHES



(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a hanger hook from coming off and increase the strength of a hanger-hook-supporting part, in a case for clothes made of paper such as corrugated board.

SOLUTION: A hanger-hanging part 100 formed in a suspended piece 80 comprises a hole part 101, door part 102, reinforcement piece part 105, and opening part 106. The door part 102 comprises a cut 103 and a fold line 104. The reinforcement piece part 105 is formed by making a cut 107 in the

suspended piece 80 and by folding the cutout part back down along a fold line 108. To support a hanger-hanging part, it is first inserted into the hole part 101, then moved down along the door part 102, and

supported by the opening part 106.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-118382

(43)公開日 平成9年(1997)5月6日

(51)Int.Cl.⁶
B 65 D 85/18
A 47 G 25/54

識別記号 庁内整理番号
0833-3E

P I
B 65 D 85/18
A 47 G 25/54

技術表示箇所
N

審査請求 未請求 請求項の数10 FD (全9頁)

(21)出願番号

特願平7-300529

(22)出願日

平成7年(1995)10月24日

(71)出願人 000129493

株式会社クラウン・パッケージ
愛知県小牧市大字小針字政所77番地

(72)発明者 佐光 守哉

愛知県小牧市大字小針字政所77番地 株式
会社クラウン・パッケージ内

(72)発明者 平松 友也

愛知県一宮市千秋町加茂字流七二の二

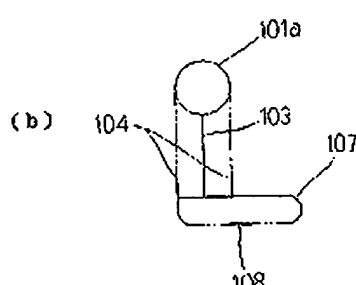
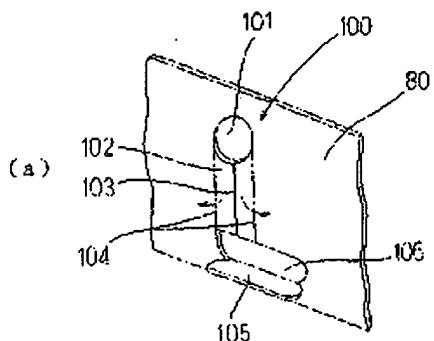
(74)代理人 弁理士 長屋 文雄 (外1名)

(54)【発明の名称】 衣類ケース

(57)【要約】

【課題】 段ボール材等の紙材で形成された衣類ケースであって、ハンガーの掛け部の脱落を防止でき、かつ、ハンガーの掛け部を支持する部分の強度が高い衣類ケースを提供する。

【解決手段】 垂下片80に形成されるハンガー掛け部100は、孔部101と、扉部102と、補強片部105と、開口部106などで構成される。上記扉部102は切込み103と折れ線104などで構成される。また、補強片部105は垂下片80に切込み107を形成して、折れ線108の部分で下方に折り返して形成する。ハンガーの掛け部を支持する場合には、まず、孔部101に挿通して扉部102に沿って下方に移動させ、開口部106の部分で支持する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 衣類を収納する衣類ケースであって、段ボール材で形成された片部で、ハンガーの掛け部を掛止するハンガー掛け部を有する片部が設けられ、該ハンガー掛け部が、孔部と、該孔部から下方に追設された縦長形状の扉部で、上記片部に切込みと折れ線とを形成して設けられた扉部と、該扉部の下方に追設された横長形状の開口部とを有することを特徴とする衣類ケース。

【請求項2】 上記開口部の縫幅が上記孔部の縫幅よりも小さく形成されていることを特徴とする請求項1に記載の衣類ケース。

【請求項3】 ハンガー掛け部が、さらに、上記開口部の下端に設けられる補強片部を有し、該補強片部は、片部に切込みを形成して折り返して形成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の衣類ケース。

【請求項4】 衣類を収納する衣類ケースであって、段ボール材で形成された片部で、ハンガーの掛け部を掛止するハンガー掛け部を有する片部が設けられ、該ハンガー掛け部が、上記片部に任意形状の切込みを形成し、所定の折れ線で下方に折り返して形成された補強片部を有することを特徴とする衣類ケース。

【請求項5】 補強片部が略三角形状を呈し、片部に、三角形状の二辺に相当する切込みと他の一辺に相当する折れ線を形成してなることを特徴とする請求項4に記載の衣類ケース。

【請求項6】 補強片部が半円形状を呈し、片部に、半円形状の切込みと直線状の折れ線を形成してなることを特徴とする請求項4に記載の衣類ケース。

【請求項7】 衣類を収納する衣類ケースであって、相対する表板部と裏板部と、相対する左側板部と右側板部とで4周面が形成され、

該左側板部から延設された一对の舌片と、上記一对の舌片のうち裏板部側の舌片と該左側板部間に形成された切込みと、

該右側板部から延設された一对の舌片と、上記一对の舌片のうち裏板部側の舌片と該右側板部間に形成された切込みと、

裏板部から延設され、左右に突起部を有する上面フランプであって、該裏板部側に設けられた舌片部に支持され、該突起部が上記切込みにより形成される押通孔に押通されている上面フランプと、

該上面フランプから延設される片部であって、ハンガー掛け部を有する片部と、

上記表板部から延設される蓋体フランプと、を有することを特徴とする衣類ケース。

【請求項8】 衣類ケースが、さらに、4周面を形成する相対する表板部と裏板部と、相対する左側板部と右側板部とを有するとともに、

該左側板部から延設された一对の舌片と、

2

上記一对の舌片のうち裏板部側の舌片と該左側板部間に形成された切込みと、

該右側板部から延設された一对の舌片と、

上記一对の舌片のうち裏板部側の舌片と該右側板部間に形成された切込みと、

裏板部から延設され、左右に突起部を有する上面フランプであって、該裏板部側に設けられた舌片部に支持され、該突起部が上記切込みにより形成される押通孔に押通されている上面フランプと、

上記表板部から延設される蓋体フランプと、を有し、上記ハンガー掛け部を有する片部は、上記上面フランプから延設されていることを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の衣類ケース。

【請求項9】 衣類を収納する衣類ケースであって、該衣類ケースが第1プランクと第2プランクとで形成され、

該第1プランクが、略方形の裏板部と、該裏板部の上辺から折れ線を介して連設され、左右に突起部を有する上面フランプと、該上面フランプから折れ線を介して連設され、ハンガー掛け部を有する片部と、該裏板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部と、該裏板部の左辺から折れ線を介して連設された右側板部と、該右側板部の上辺から折れ線を介して連設された一对の舌片と、

該右側板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部とを有し、上記右側板部と舌片間に上記突起部押通用の切込みが形成されるとともに、上記裏板部と上面フランプ間に切込みが形成され、

上記第2プランクが、略方形の表板部と、該表板部の上辺から折れ線を介して連設された蓋体フランプであって、上記裏板部と上面フランプ間に形成された切込みに

より形成される押通孔に押通するための突起部を有する蓋体フランプと、上記表板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部と、上記表板部の左辺から折れ線を介して連設された左側板部と、該左側板部の上辺から折れ線を介して連設された一对の舌片と、該左側板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部とを有し、上記左側板部と舌片間に上記突起部押通用の切込みが形成されることを特徴とする衣類ケース。

【請求項10】 片部にハンガー掛け部が1つのみ設けられ、衣類ケースが衣類を1枚のみ収納する厚みを有することを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の衣類ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、衣類を収納する衣類ケースに関するものであり、特に、ハンガーに掛けた状態の衣類を、該ハンガーの停止部によりぶら下げた状態で収納し、運搬等を行う衣類ケースに関するものである。

50 【0002】

【従来の技術】従来の衣類ケースにおいては、木製のものや合成樹脂で形成されたものが存在する。しかし、特に、上記合成樹脂で形成されたものにおいては、磨耗処理が困難であった。そこで、段ボール材等の紙材で形成された衣類ケースも存在する。この紙材で形成された衣類ケースにおいては、ハンガーの掛け部を停止するための孔が設けられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の紙材で形成された段ボール材においては、ハンガーの掛け部を停止する孔からハンガーが脱落しやすく、せっかく吊り下げる状態になっている衣類にしづかに形成されてしまうという問題があった。また、衣類ケースが紙材で形成されている場合に、ハンガーの掛け部を停止するための孔が設けられた片部も紙材で形成されているので、孔部の部分の強度や耐久性に問題があった。そこで、本発明は、段ボール材等の紙材で形成された衣類ケースであって、ハンガーの停止部が脱落せず、また、強度の高い衣類ケースを提供することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記問題点を解決するために創作されたものであって、第1には、衣類を収納する衣類ケースであって、段ボール材で形成された片部で、ハンガーの掛け部を停止するハンガー掛け部を有する片部が設けられ、該ハンガー掛け部が、孔部と、該孔部から下方に連設された縦長形状の扉部で、上記片部に切込みと折れ線とを形成して設けられた扉部と、該扉部の下方に連設された横長形状の開口部とを有することを特徴とする。この第1の構成の衣類ケースにおいては、ハンガーの掛け部をまず上記孔部に挿通して、その後扉部の切込みに沿って下方へ移動させる。そして、開口部に掛け部を支持させる。本構成の衣類ケースでは、扉部が縦長に形成され、開口部が横長に形成されているので、ハンガーの掛け部を開口部の扉部からはずれた箇所に支持させることによって、掛け部は外れにくくなり、また、扉部が設けられているので、これによっても掛け部の脱落を防止することができる。

【0005】また、第2には、上記第1の構成において、上記開口部の縦幅が上記孔部の縦幅よりも小さく形成されていることを特徴とする。本構成の衣類ケースによれば、孔部の縦幅が開口部の縦幅よりも大きく形成されているので、孔部への掛け部への挿通が容易で、かつ、開口部に支持された掛け部の脱落を防止できる。また、第3には、上記第1又は第2の構成において、ハンガー掛け部が、さらに、上記開口部の下端に設けられる補強片部を有し、該補強片部は、片部に切込みを形成して折り返して形成されていることを特徴とする。この補強片部により、ハンガーの掛け部を支持する部分が補強されるので、強度を高めることができる。

【0006】また、第4には、衣類を収納する衣類ケー

スであって、段ボール材で形成された片部で、ハンガーの掛け部を停止するハンガー掛け部を有する片部が設けられ、該ハンガー掛け部が、上記片部に任意形状の切込みを形成し、所定の折れ線で下方に折り返して形成された補強片部を有することを特徴とする。本構成の衣類ケースによれば、ハンガーの掛け部を支持する部分が、片部それ自体と上記補強片部とにより二重になるので、強度を高めることができる。また、第5には、上記第4の構成において、補強片部が略三角形状を呈し、片部に、三角形状の二辺に相当する切込みと他の一辺に相当する折れ線を形成してなることを特徴とする。また、第6には、上記第4の構成において、補強片部が半円形状を呈し、片部に、半円形状の切込みと直線状の折れ線を形成してなることを特徴とする。この第5及び第6の構成の衣類ケースにおいては、ハンガーの掛け部を支持する部分が、片部それ自体と上記補強片部とにより二重になるので、強度を高めることができる。

【0007】また、第7には、衣類を収納する衣類ケースであって、相対する表板部と裏板部と、相対する左側

板部と右側板部とで4周面が形成され、該左側板部から延設された一対の舌片と、上記一対の舌片のうち裏板部側の舌片と該左側板部間に形成された切込みと、該右側板部から延設された一対の舌片と、上記一対の舌片のうち裏板部側の舌片と該右側板部間に形成された切込みと、裏板部から延設され、左右に突起部を有する上面フラップであって、該裏板部側に設けられた舌片部に支持され、該突起部が上記切込みにより形成される溝孔に挿通されている上面フラップと、該上面フラップから延設される片部であって、ハンガー掛け部を有する片部と、上記表板部から延設される蓋体フラップと、を有することを特徴とする。この第7の構成の衣類ケースにおいては、ハンガー掛け部を有する片部が延設された上面フラップが、左右に設けられた突起部が切込みに挿通されるとともに、舌片により支持されるので、上面フラップを確実に支持することができる。また、蓋体フラップを閉めることにより、衣類ケースの上面全体を閉めることができる。

【0008】また、第8には、上記第1から第6のいずれかの構成において、衣類ケースが、さらに、4周面を形成する相対する表板部と裏板部と、相対する左側板部と右側板部とを有するとともに、該左側板部から延設された一対の舌片と、上記一対の舌片のうち裏板部側の舌片と該右側板部間に形成された切込みと、裏板部から延設され、左右に突起部を有する上面フラップであって、該裏板部側に設けられた舌片部に支持され、該突起部が上記切込みにより形成される溝孔に挿通されている上面フラップと、上記表板部から延設される蓋体フラップと、を有し、上記ハンガー掛け部を有する片部

は、上記上面フラップから延設されていることを特徴とする。この第8の構成の衣類ケースにおいては、ハンガー掛止部を有する片部が延設された上面フラップが、左右に設けられた突起部が切込みに拘通されるとともに、舌片により支持されるので、上面フラップを確実に支持することができる。また、蓋体フラップを開めることにより、衣類ケースの上面全体を開めることができる。

【0009】また、第9には、衣類を収納する衣類ケースであって、該衣類ケースが第1プランクと第2プランクとで形成され、該第1プランクが、略方形状の裏板部と、該裏板部の上辺から折れ線を介して連設され、左右に突起部を有する上面フラップと、該上面フラップから折れ線を介して連設され、ハンガー掛止部を有する片部と、該裏板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部と、該裏板部の左辺から折れ線を介して連設された右側板部と、該右側板部の上辺から折れ線を介して連設された一対の舌片と、該右側板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部とを有し、上記右側板部と舌片間に上記突起部拘通用の切込みが形成されるとともに、上記裏板部と上面フラップ間に切込みが形成され、上記第2プランクが、略方形状の表板部と、該表板部の上辺から折れ線を介して連設された蓋体フラップであって、上記裏板部と上面フラップ間に形成された切込みにより形成される拘通孔に拘通するための突起部を有する蓋体フラップと、上記表板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部と、上記表板部の左辺から折れ線を介して連設された左側板部と、該左側板部の上辺から折れ線を介して連設された一対の舌片と、該左側板部の下辺から折れ線を介して連設された底片部とを有し、上記左側板部と舌片間に上記突起部拘通用の切込みが形成されることを特徴とする。この構成の衣類ケースにおいては、上記第1プランクと第2プランクとを組み立ててケースを形成する。つまり、表板部と裏板部と左側板部と右側板部とで4周面を形成し、一対の舌片のうち裏板部側に位置する舌片上に上面フラップを支持させて、上面フラップに設けられた突起部を左右側板部と舌片間に設けられた切込みにより形成された拘通孔に拘通して上面フラップを固定する。底面部においては、4つの底片部を組み合わせて底面を構成する。

【0010】この第9の構成の衣類ケースによれば、ハンガー掛止部を有する片部が延設された上面フラップが、左右に設けられた突起部が切込みに拘通されるとともに、舌片により支持されるので、上面フラップを確実に支持することができる。また、2枚にプランクを打ち抜き、組み立てることにより比較的簡単な構成で衣類ケースを構成することができます。また、第10には、上記第1から第9のいずれかの構成において、片部にハンガー掛止部が1つのみ設けられ、衣類ケースが衣類を1枚のみ収納する厚みを有することを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態としての実施例を図面を利用して説明する。本発明に基づく衣類ケースAは、図1に示されるように、略方形状の箱状を呈し、上面部101と、裏板部201と、裏板部301と、左側板部としての側板部401と、右側板部としての側板部501と、底面部601とを有している。

【0012】ここで、上記上面部101は、その半分が上面フラップ701により覆われ、該上面フラップ701の端部には、片部としての垂下片801がほぼ垂直に設けられている。この垂下片801には、ハンガー掛止部1001が設けられている。このハンガー掛止部1001の構成については後述する。上記上面フラップ701の下部には、舌片41b、51bが設けられている。なお、上記上面フラップ701は、該上面フラップ701から延設されている突起部71、72を拘通孔42、52に係合させることにより固定されている。また、上面部101の他の半分には側板部401、501から延設された舌片41a、51aが折れ線を介して開閉可能に設けられ、さらに、表板部201から延設された蓋体フラップ901が開閉可能に設けられている。この蓋体フラップ901には、突起部91が延設されている。この蓋体フラップ901が閉状態の場合には、該突起部91を拘通孔32に拘通することにより、上記上面フラップ701を含む上面全体を覆った状態で固定される。

【0013】また、裏板部201は略方形状を呈している。裏板部301も上記裏板部201と略同一の形状を呈し、略方形状を呈している。また、側板部401、501も略方形状を呈するが、上記表板部201、裏板部301よりも細長の形状を呈している。この側板部401と側板部501は略同一の形状を呈している。この衣類ケースAは、衣類を1枚のみ収納することができるよう形成されたものであるので、側板部401、501は、背広服やコートを1枚収納するのに十分な幅を有している。また、底面部601は、底片部61～64により形成され、該底片部61～64を適宜組み合わせることにより略板状に形成され、該底片部61～64が組み合わされた状態で、底面部601側から視認した場合には、該底片部61～64は図2に示すようになっている。

【0014】次に、上記ハンガー掛止部1001の構成について説明する。ハンガー掛止部1001は、図3(a)に示すように、略円形の孔部101と、縦長形状の一対の扉部102と、横長形状の補強片部105と、該補強片部105と同様に横長形状の開口部106とを有し、全体で略し字形状を呈している。上記扉部102は、切込み103と折れ線104とによって観音開き状に開閉するようになっている。また、上記補強片部105は、開口部106の下端から延設され下方に折れ曲がるようになっている。このハンガー掛止部1001は、垂下片801に所定の開口部や切込みを形成することにより形成される。

【0015】続いて、上記構成の衣類ケースAの展開状態について説明する。上記構成の衣類ケースAは、2つのブランクにより構成される。つまり、図4に示す第1ブランクA1と図5に示す第2ブランクA2とによって構成される。なお、図4及び図5において、一点鎖線は山折りの折れ線を示すものとする。

【0016】ここで、上記第1ブランクA1は、図4に示すように、裏板部30と、糊代部31と、側板部50と、舌片51a、51bと、底片部61、62と、上面フラップ70と、垂下片80とを有している。上記裏板部30は、縦長の略方形形状を呈し、この裏板部30の上辺からは上面フラップ70が折れ線を介して連設されている。この上面フラップ70のH方向の長さは、上記裏板部30と略同一で、左右には突起部71、72が連設されている。この裏板部30と上面フラップ70との間には、押通孔42を形成するための略コ字状の切込み33が設けられている。また、この上面フラップ70の上辺からは折れ線を介して垂下片80が連設されている。この垂下片80のH方向の長さは上記上面フラップ70と略同一であり、その略中央にはハンガー掛止部100が設けられている。また、裏板部30の右辺からは幅狭の糊代部31が折れ線を介して連設され、さらに、裏板部30の下辺からは底片部62が連設されている。この底片部62は図4に示すように両端が下方に突出した形状を呈している。

【0017】また、上記裏板部30の左辺から側板部50が折れ線を介して連設されている。この側板部50も略方形形状を呈し、V方向の長さは上記裏板部30と同一であるが、H方向の長さは上記裏板部30よりも小さくなっている。また、該側板部50の上辺からは舌片51a、51bが折れ線を介して連設されている。この側板部50と舌片51bとの間には、押通孔52を形成するための略コ字状の切込み53が設けられている。この舌片51aと舌片51bとの間には、組立て時に垂下片80が入り込むことができるよう隙間501が設けられている。また、上記側板部50の下辺からは底片部61が折れ線を介して連設されている。

【0018】次に、上記第2ブランクA2は、図5に示すように、裏板部20と、糊代部21と、側板部40と、舌片41a、41bと、底片部63、64と、蓋体フラップ90とを有している。上記表板部20は、縦長の略方形形状で上記裏板部30と同一の形状を呈し、この裏板部20の上辺からは蓋体フラップ90が折れ線を介して連設されている。この蓋体フラップ90のV方向の長さは、上記側板部40、50のH方向の長さと略同一で、上邊略中央付近には突起部91が連設されている。また、裏板部20の右辺からは幅狭の糊代部21が折れ線を介して連設され、さらに、裏板部20の下辺からは底片部64が連設されている。この底片部64は図5に示すように略台形の形状を呈している。

【0019】また、上記表板部20の左辺からは側板部40が折れ線を介して連設されている。この側板部40も略方形形状を呈し、上記側板部50と同一の形状を呈している。また、該側板部40の上辺からは舌片41a、41bが折れ線を介して連設されている。この側板部40と舌片41bとの間には、押通孔42を形成するための略コ字状の切込み43が設けられている。この舌片41aと舌片41bとの間には、組立て時に垂下片80が入り込むことができるよう隙間401が設けられている。また、上記側板部40の下辺からは底片部63が折れ線を介して連設されている。

【0020】次に、上記構成の衣類ケースAの製造工程について説明する。まず、段ボール材より第1ブランクA1と第2ブランクA2の展開状態に打抜き形成を行う。打抜き形成はトムソン等で行う。つまり、第1ブランクA1においては、図4に示す第1ブランクA1の外形形状に打抜き形成するとともに、ハンガー掛止部100や切込み33、53を形成し、同時に折れ線を形成する。なお、突起部71の部分は舌片51bの側に切込みを入れることになる。ハンガー掛止部100については、図3(リ)に示すように、孔部101を形成するための切込み101aと、切込み103と、折れ線104と、切込み107と、折れ線108とが形成される。上記切込み107と折れ線108とは全体で略トラック状に形成され、折れ線108の部分を残して切込み107を形成する。また、第2ブランクA2においては、図5に示す第2ブランクA2の外形形状に打抜き形成するとともに、切込み43を形成し、同時に折れ線を形成する。

【0021】第1ブランクA1と第2ブランクA2の展開形状に打抜き形成が行われたら、所定の折れ線で折曲げ形成を行った後、糊代部31と側板部40の端部とを固定し、同時に、糊代部21と側板部50の端部とを固定する。固定は接着剤により接着を行ってもよいし、ホッチキス等で固定するようにしてもよい。

【0022】そして、舌片41b、51bとを折り曲げた状態でこれら舌片41b、51bの上を覆うように上面フラップ70を折り曲げ、突起部71、72を切込み43、53により形成される押通孔42、52に押通して上面フラップ70を固定する。この上面フラップ70は舌片41a、51a上に支持されるので、これらの舌片41a、51aにより補強され、容易に折れ曲がることがない。また、垂下片80を垂直方向に折り曲げ、隙間401、501に位置するようにする。また、底面部60を構成する底片部61～64を順番に折り曲げて組み立て、底面部60を構成する。以上のようにして衣類ケースAを組み立てる。このように、上記衣類ケースAにおいては、接着等により固定すべき部分がほとんどなく、おおよそ嵌込み作業により組み立てができる。また、2枚をブランクを打ち抜き形成して組み立て

るのみで構成することができ、また、全体の構造も比較的簡単な構成で衣類ケースを提供することができる。

【0023】次に、上記構成の衣類ケースAの使用状態について、図3、図6を使用して説明する。収納すべき衣類140をハンガー130に吊り下げ、該ハンガー130をハンガー掛止部100に掛止して使用する。つまり、折れ線108を介して補強片部105を下方に折り返しておき、まず、ハンガー130の掛け部の先端を孔部101に挿入した後に、該ハンガーを下方に移動させる。すると、扉部102は自然と開き、開口部106の部分に至る。その後、掛け部を右に移動させた位置でハンガー130の掛け部を掛止する。

【0024】掛け部を扉部102から外れた位置掛止しておくことにより、掛け部の脱落を防止することができる。また、開口部106の上下方向の長さは小さく形成されているので、掛け部の脱落のおそれがなく、また、扉部102が設けられているため、ハンガー130の掛け部のハンガー掛止部100からの脱落を防止できる。また、開口部106の上下方向の長さは小さく形成されながら、孔部101の径はそれよりも大きく構成されているので、孔部101への挿入は容易であり、ハンガー130の取付けは容易となる。ハンガー130が掛止された状態では、ハンガー130の掛け部を支持する垂下片80の部分が補強片部105によって二重になるため、強度を高めることができる。ハンガー130の掛け部が完了したら、舌片41a、51aを閉め、さらに、蓋体フラップ90を閉めて突起部91を伸通孔32に挿通して蓋体フラップ90を固定する。以上のようにして、衣類の収納を完了する。

【0025】衣類140及びハンガー130の取外しに当たっては、蓋体フラップ90及び舌片41a、51aを開けた上で、ハンガー130を上に持ち上げて掛け部を扉部102を介して孔部101にまで移動させることにより、該孔部101から容易にハンガー130の掛け部を取り出すことができる。

【0026】以上のようにして、衣類を掛けたハンガーを衣類ケースAの垂下片80から落下するおそれを防止して衣類ケースAに収納することができ、運搬においても安全に行うことができる。よって、例えば、毛皮のコート等の高級品やスーツ等を運搬する場合でも安全に運搬することができる。

【0027】次に、ハンガー掛止部の他の例について説明する。図7に示すように、ハンガー掛止部110は、略三角形状の孔部111と補強片部112とを有している。このハンガー掛止部110の形成に当たっては、図7(b)に示すように、垂下片80に切込み113と折れ線114とを設ける。切込み113と折れ線114とで正三角形の形状を呈する。そして、折れ線114を介して下方に折り返すことにより上記ハンガー掛止部110を形成する。このハンガー掛止部110の使用状態に

ついては、上記実施例の場合と同様に、ハンガーの掛け部を孔部111に掛止して使用する。この場合には、垂下片80と補強片部112とで二重に構成されるので、強度を高めることができる。

【0028】さらに、ハンガー掛止部の他の例について説明する。図8に示すように、ハンガー掛止部120は、略半円形状の孔部121と補強片部122とを有している。このハンガー掛止部120の形成に当たっては、図8(b)に示すように、垂下片80に半円状の切込み123と直線状の折れ線124とを設ける。そして、折れ線124を介して下方に折り返すことにより上記ハンガー掛止部120を形成する。このハンガー掛止部120の使用状態については、上記実施例の場合と同様に、ハンガーの掛け部を孔部121に掛止して使用する。この場合には、垂下片80と補強片部122とで二重に構成されるので、強度を高めることができる。

【0029】なお、上記説明において、衣類ケースAは衣類1枚のみを収納するためのものであるとして説明したが、側板部40、50の幅を大きくして複数枚の衣類を収納できるようにしてもよい。

【0030】

【発明の効果】本発明に基づく請求項1に記載の衣類ケースによれば、ハンガーの掛け部を開口部の扉部からはずれた箇所に支持させることによって、掛け部は外にくくなり、また、扉部が設けられているので、これによっても掛け部の脱落を防止することができる。また、特に、請求項2に記載の衣類ケースによれば、孔部の縦幅が開口部の縦幅よりも大きくなっているので、孔部への掛け部への挿通が容易で、かつ、開口部に支持された掛け部の脱落を防止できる。また、特に、請求項3に記載の衣類ケースによれば、補強片部によりハンガーの掛け部を支持する部分が補強されるので、強度を高めることができる。

【0031】また、請求項4に記載の衣類ケースによれば、ハンガーの掛け部を支持する部分が、片部それ自体と上記補強片部とにより二重になるので、強度を高めることができる。また、特に、請求項5及び請求項6に記載の衣類ケースによれば、ハンガーの掛け部を支持する部分が、片部それ自体と上記補強片部とにより二重になるので、強度を高めることができる。

【0032】また、請求項7及び請求項8に記載の衣類ケースによれば、上面フラップを確実に支持することができる。また、蓋体フラップを開めることにより、衣類ケースの上面全体を閉めることができる。また、特に、請求項9に記載の衣類ケースによれば、上面フラップを確実に支持することができる。また、2枚にプランクを打ち抜き、組み立てることにより比較的簡単な構成で衣類ケースを構成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に基づく衣類ケースの斜視図で

11

ある。

【図2】本発明の実施例に基づく衣類ケースの底面図である。

【図3】ハンガー掛止部の構成を示す図であり、(a)はその斜視図であり、(b)は展開状態を示す平面図である。

【図4】第1ブランクの展開状態を示す平面図である。

【図5】第2ブランクの展開状態を示す平面図である。

【図6】衣類ケースの使用状態を示す斜視図である。

【図7】ハンガー掛止部の他の構成を示す図であり、(a)はその斜視図であり、(b)は展開状態を示す平面図である。

【図8】ハンガー掛止部の他の構成を示す図であり、(a)はその斜視図であり、(b)は展開状態を示す平面図である。

【符号の説明】

A 衣類ケース

A1 第1ブランク

A2 第2ブランク

10 上面部

12

*20 表板部

30 裏板部

40, 50 側板部

41a, 41b, 51a, 51b 舌片

42, 52 締道孔

43, 53 切込み

60 底面部

61, 62, 63, 64 底片部

70 上面フック

10 71, 72 突起部

80 垂下片

100, 110, 120 ハンガー掛止部

101, 111, 121 孔部

102 扇部

103, 107, 113, 123 切込み

104, 108, 114, 124 折れ線

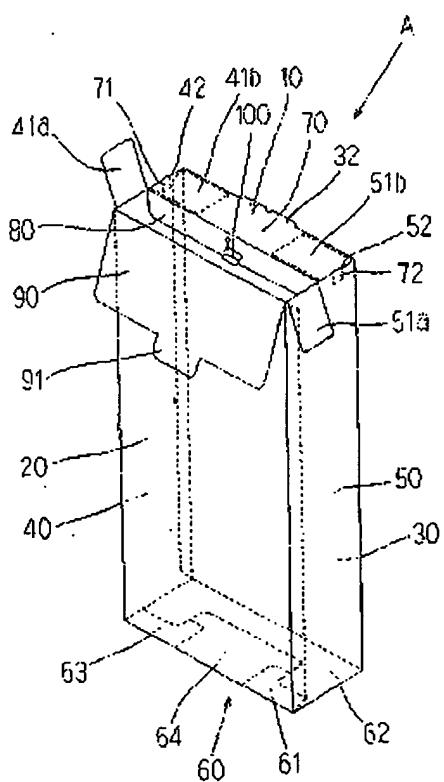
105, 112, 122 強化片部

106 開口部

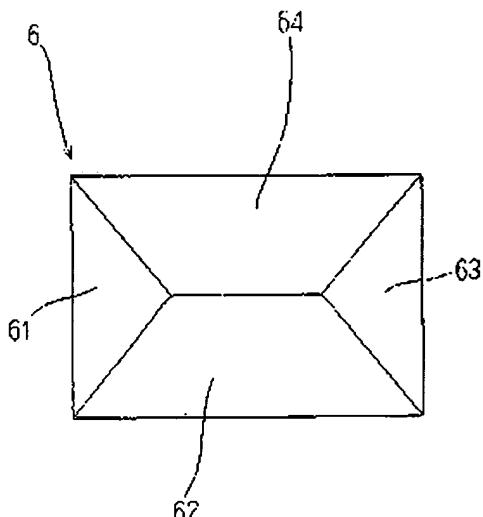
130 ハンガー

*20 140 衣類

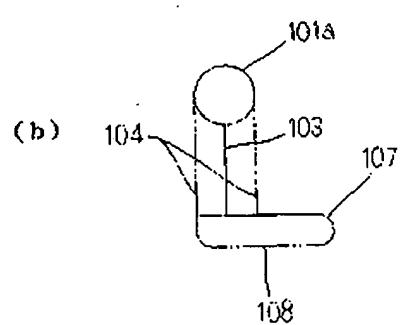
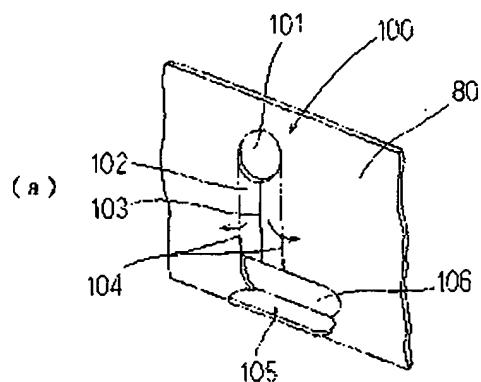
【図1】



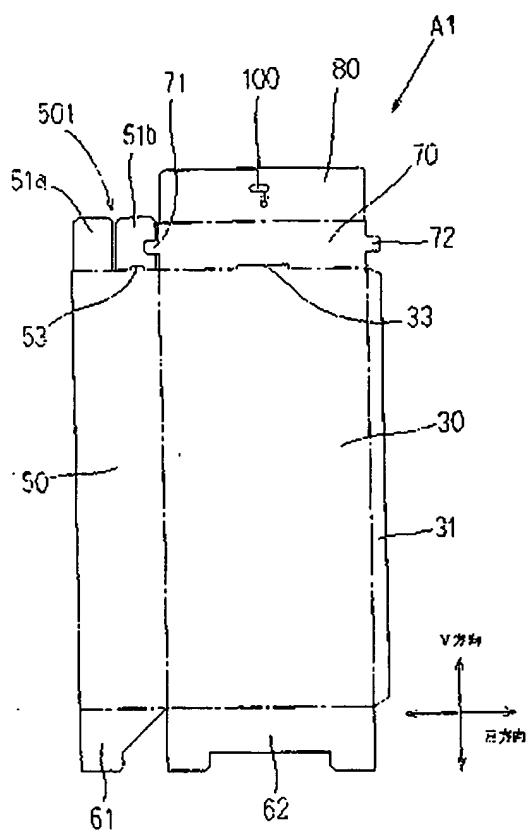
【図2】



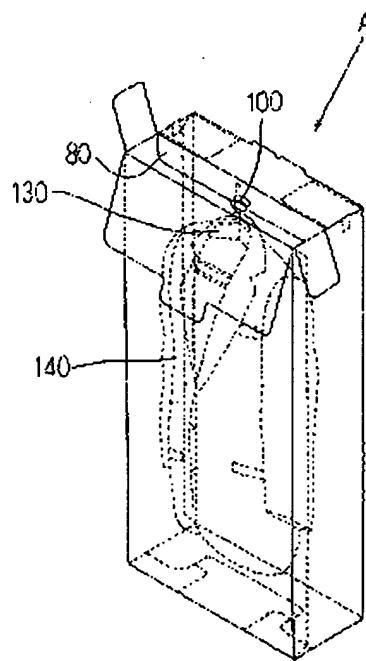
【図3】



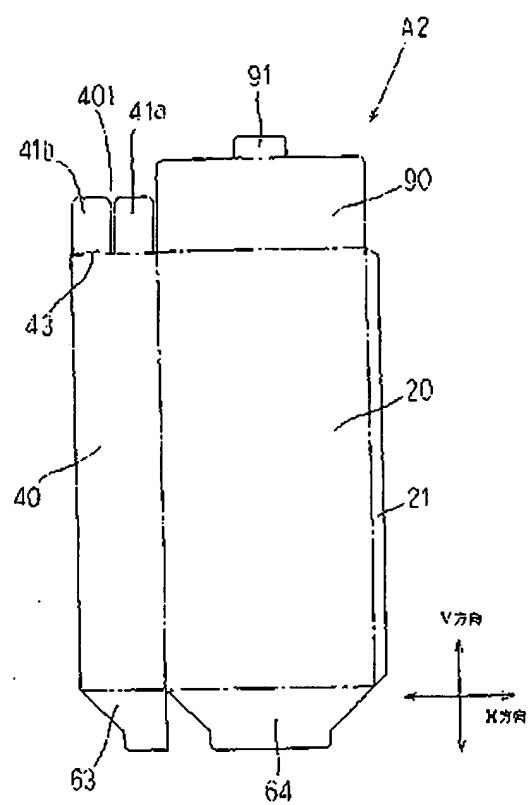
【図4】



【図6】

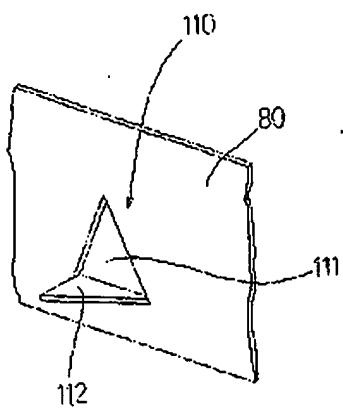


【図5】

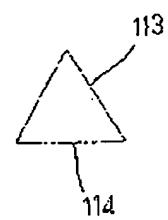


(a)

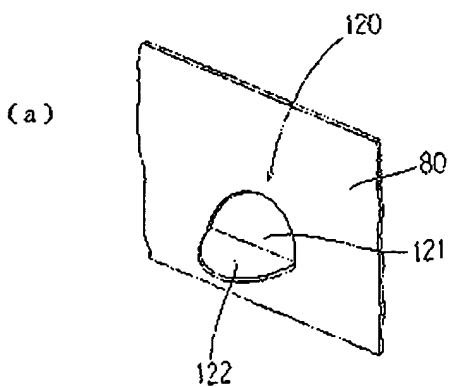
【図7】



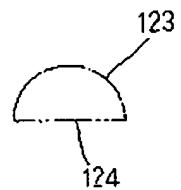
(b)



【図8】



(b)



This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT OR DRAWING
 - BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
 - SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
 - GRAY SCALE DOCUMENTS
 - LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
 - REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
 - OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents *will not* correct images
problems checked, please do not report the
problems to the IFW Image Problem Mailbox